

平成 28 年熊本地震による被災状況について

「平成 28 年熊本地震」の概況及び被害状況等について

1. 地震の概要

- 前震 発生日時：平成 28 年 4 月 14 日（木） 21 時 26 分
震源地：熊本県熊本地方（深さ：11 km） 規模：マグニチュード 6.5
市内震度 6 弱（県内最大震度 7）
- 本震 発生日時：平成 28 年 4 月 16 日（土） 01 時 25 分
震源地：熊本県熊本地方（深さ：12 km） 規模：マグニチュード 7.3
市内震度 6 強（県内最大震度 7）

2. 被害の状況等（8 月 17 日 8：00 現在）

人的被害 : 死者数 36 人、重傷者：446 人
 家屋被害 : 全壊 2,435 棟
 半壊 14,230 棟
 一部損壊 83,177 棟
 （り災証明受付数 100,877 件） ※8/15 受付分まで
 （参 考 : 最大避難人員約 11 万人（17 日 08 時頃））

3. 市有施設等（都市基盤関係）の被害及び復旧状況（8 月 12 日特別委員会資料抜粋）

種別	被害関係（主なもの）	復旧状況
上下水道	■水道 27 施設 57 箇所が被災（井戸ケーシング損傷、建屋傾倒など） 水道管路漏水件数 3,597 件 ■工業用水道 施設 2 箇所が被災（建屋傾倒、配管破損など） ■下水道 5 浄化センター、13 ポンプ場などが被災（汚泥掻寄機損傷、導水管破損など） 管路 2,544km のうち、約 30km が被災（管路やマンホールの破損、道路陥没など）	■水道 6 月 22 日までに応急復旧完了。 10 月の災害査定を受けた後、工事に着手する予定。 ■工業用水道 4 月 17 日までに応急復旧完了。 8 月の災害査定を受けた後、工事に着手する予定。 ■下水道 浄化センター、ポンプ場については、6 月 13 日までに応急復旧完了。 8 月の災害査定を受けた後、工事に着手する予定。
道路・橋りょう	■道路 7,417 箇所が被災 被災箇所中通行止め延べ 179 箇所（最大時） ・主要地方道玉名植木線など ■橋りょう 2,909 橋のうち 657 箇所が被災 被災箇所中通行止め延べ 21 箇所（最大時） ・白川橋 ・神園橋など	道路・橋りょうを合わせた通行止め延べ 200 箇所（最大時）のうち、158 箇所は開通済み。残りは主に生活道路にて民有地の家屋や塀が要因（倒壊の恐れ）となっている箇所であるため、所有者と協議を進めている状況。被災箇所については、ほぼ全箇所において仮復旧が完了し、順次本復旧工事に着手している。今年度中には工事を完了させる予定（一部橋梁を除く）。
河川	■法河川 一級河川鶯川外 4 件の被災 ■その他河川等 秋津第 15 号排水路外 9 件の被災 ■雨水施設 加勢川第 6 排水区調整池外 2 件の被災	二次災害防止等の緊急を要する 4 箇所については、応急的に大型土のう等で仮復旧完了。災害査定により、災害復旧の補助対象額が決定した被災箇所から順次工事を発注する予定。

種別	被害関係（主なもの）	復旧状況
公園	■武蔵塚公園 門、東屋、灯籠等倒壊 ■柿原公園 公園内亀裂及び法面崩壊の恐れ ■水前寺江津湖公園 園路破損等 ■その他公園 園路破損、東屋、トイレ破損等	武蔵塚公園については、6月に災害査定を受けており、年度内に工事完了予定。 柿原公園については、5月中に応急仮工事による応急対策を実施済、6月に災害査定を受けており、年度内に本復旧完了予定。 水前寺江津湖公園の園路復旧は、年度内に完了予定。 その他公園については、災害査定を受けた後、順次工事に着手する予定。
農水産関係施設	■排水機場関連 ■農業集落排水管路の破損 ■漁港施設のひび割れ等	排水機場は、応急修理済（運転に支障なし）。 排水管路、農道、排水路は、一部仮復旧済。平成29年3月までに国の事業を活用し復旧予定。 漁港施設は、補修工事を8月末までに完了予定。

4. 公共施設被害額（まとめ） ※現時点の試算結果であり、今後金額の変動がある。（8月12日特別委員会資料抜粋）

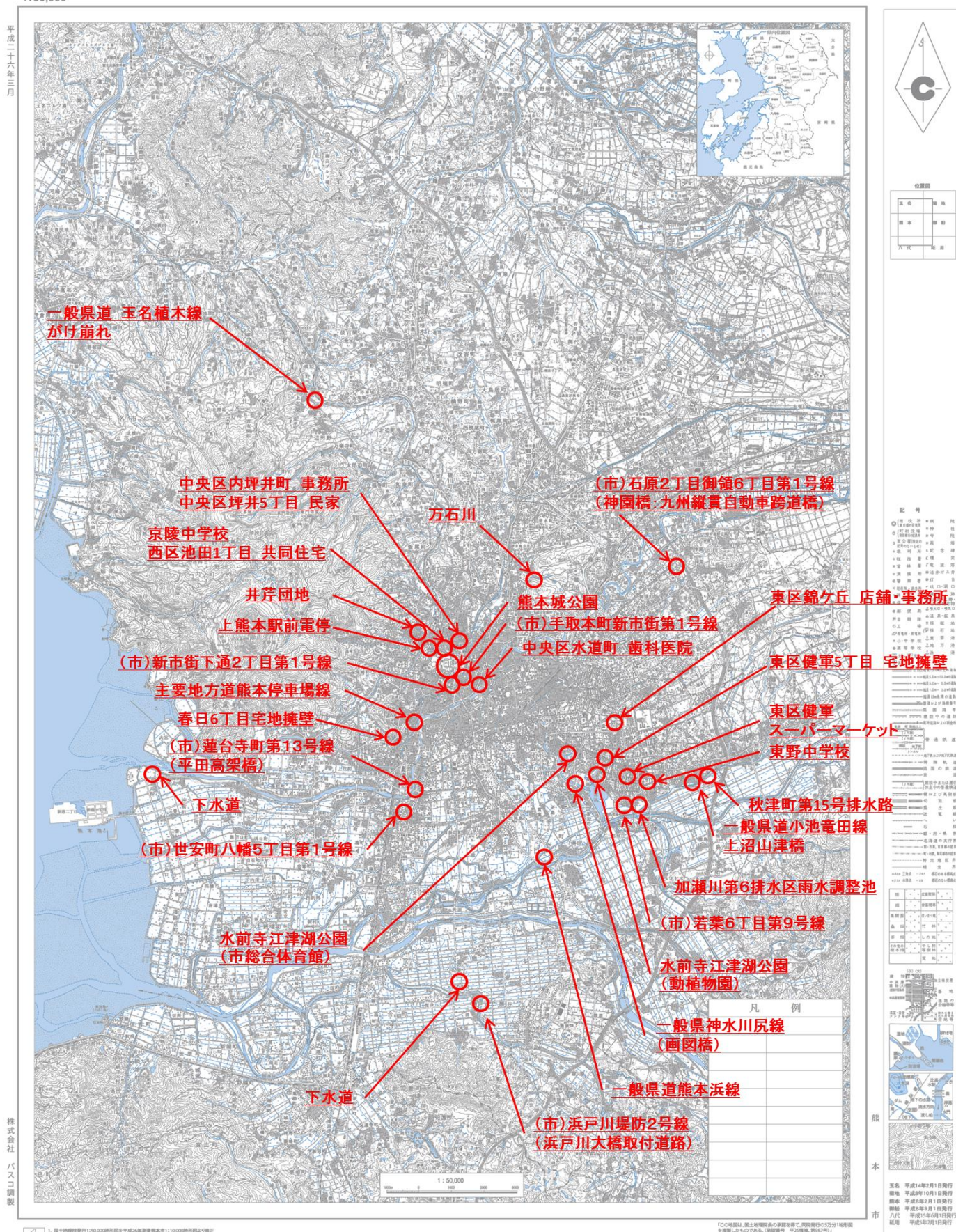
区分		被害額
(1) 都市基盤関係		約 258 億円
	①上下水道	約 127 億円
	②道路・橋りょう	約 98 億円
	③河川関係施設	約 17 億円
	④公園	約 7 億円
	⑤農水産関係施設	約 8 億円
	⑥市電	約 1 億円
(2) 公共建築物		約 1,167 億円
	①学校関係	約 121 億円
	②廃棄物処理施設	約 13 億円
	③市民利用施設	約 993 億円
	④庁舎等	約 19 億円
	⑤その他施設（文化財、普通財産等）	約 21 億円
被害推計額		約 1,425 億円

被災箇所位置図

熊本市全図

1:50,000

平成二十六年三月



施設名	一般県道熊本浜線
概要	一般県道熊本浜線に 50mの亀裂



施設名	主要地方道熊本停車場線
概要	伸縮継手部の段差、支承の破損



施設名	(市) 石原 2 丁目御領 6 丁目第 1 号線 (神園橋：九州縦貫自動車道跨道橋)
概要	橋台ずれ、橋脚の傾き



施設名	一般県道小池竜田線 上沼山津橋
概要	上沼山津橋に 50 c mの路面段差



施設名	(市) 蓮台寺町第 13 号線 (平田高架橋)
概要	架橋横断方向に複数の亀裂



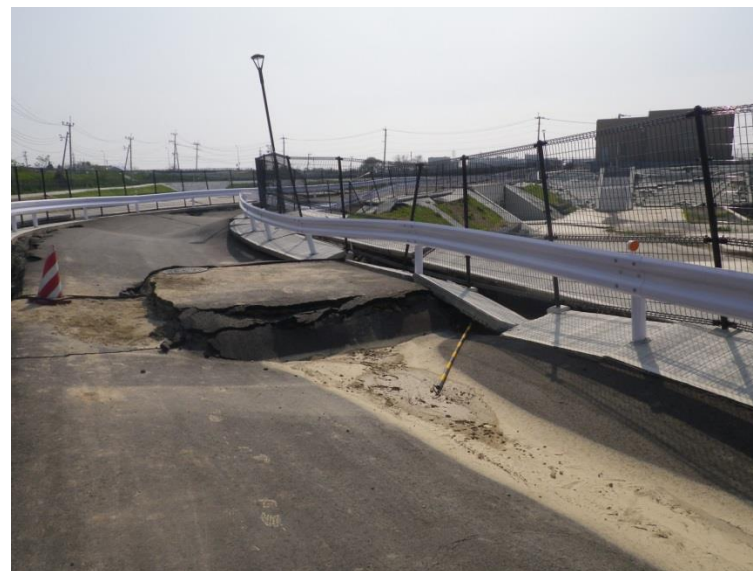
施設名	秋津町第 15 号排水路
概要	護岸の崩壊



施設名	万石川
概要	護岸の崩壊



施設名	加瀬川第 6 排水区雨水調整池
概要	調整池の損壊



施設名	水前寺江津湖公園
概要	舗装亀裂、護岸崩落



施設名	水前寺江津湖公園（熊本市総合体育館）
概要	天井一部落下



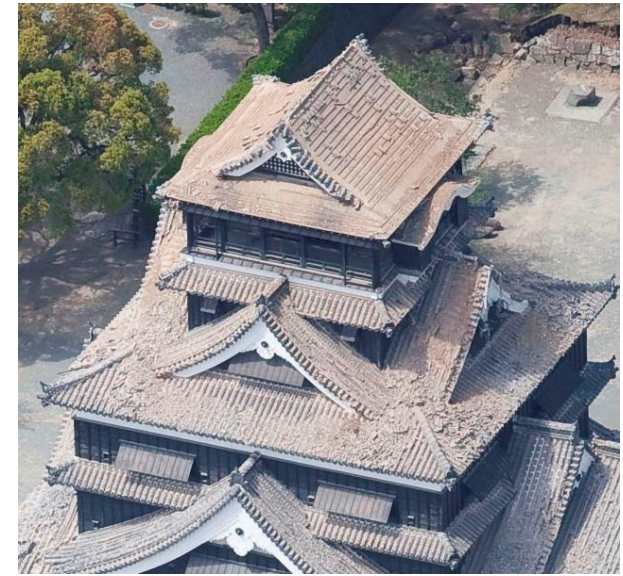
施設名	水前寺江津湖公園（動植物園）
概要	遊具施設倒壊、東屋倒壊



施設名	軌道
概要	レール沈下



施設名	熊本城 天守閣、小天守入口
概要	しゃちほこ落下、瓦崩落、石垣崩壊



施設名	熊本城 トキ櫓と石門上部石塁
概要	石垣崩壊



施設名	熊本城 百間石垣
概要	石垣崩壊



施設名	東野中学校
概要	天井崩落



施設名	中央区内坪井町 事務所
概要	建物倒壊



施設名	西区春日6丁目 宅地擁壁
概要	擁壁崩壊



施設名	南区 近見1丁目 病院
概要	液状化による建物周辺の沈下



※地盤工学会平成28年熊本地震地盤災害調査団液状化班報告等より

㊦

施設名	南区域南町 宅地擁壁
概要	擁壁崩壊



施設名	南区 近見1丁目 店舗兼住宅
概要	液状化による建物の不同沈下



※地盤工学会平成28年熊本地震地盤災害調査団液状化班報告等より

熊本地震に伴う公共交通関連要望事項

平成 28 年熊本地震に関する熊本市要望抜粋

【要望先：国土交通省】平成 28 年 5 月

- (1) 路面電車の完全な復旧・再建及び今後の経営の安定化を図るため、支援制度（補助制度）の拡充及び災害復旧に係る地方債の元利償還金に対する財政措置の対象事業拡大など必要な財政支援を行うことを求めます。
- (2) バス事業者の早期の経営安定化を図るため、必要な財政支援を求めます。
- (3) 路面電車及びバスによるボランティアなどの無料移送に要した費用について、特段の財政支援を求めます。

地域公共交通の早期復旧に向けた支援【県・市合同要望事項抜粋】

【要望先：国土交通省】平成 28 年 6 月

- (1) 路線バス事業者の施設・車両被害に対する国庫補助制度の創設及び被災地域の公共交通確保のための被災地特例の創設

平成28年熊本地震による被災状況（公共交通）

	車両被害	営業所等被害	運行状況	その他
JR九州	・4/14 九州新幹線 回送列車脱線 (6両編成) ・4/16 豊肥本線 回送列車脱線 (2両編成)	・駅舎破損:5箇所	(九州新幹線) ・4/20～ 新水俣～鹿児島中央 運行再開 ・4/23～ 博多～熊本 運行再開 ・4/27～ 熊本～新水俣 運行再開 (鹿児島本線) ・4/18～ 荒尾～熊本 運行再開 ・4/21～ 熊本～八代 運行再開 (三角線) ・4/23～ 運行再開 (肥薩線) ・4/24～ 運行再開 (豊肥本線) ・4/19～ 熊本～肥後大津 運行再開 ・7/9～ 阿蘇～豊後荻 運行再開	豊肥本線 肥後大津～阿蘇間 については現在も運転 見合わせ
熊本電鉄 (鉄道)		・駅ホーム破損:9駅 ・軌道の変形、軌道敷の 地割れ ・駅舎、事務所、店舗等 破損	・本線 4/18～ 日祝ダイヤで運行 ・上熊本線 4/23～ 日祝ダイヤで運行 ・4/25～ 運行再開	鉄道・バス共用部 破損箇所あり
交通局 (市電)	・超低床電車 1台破損	・営業所:1箇所 ・工場等:4箇所 ・その他軌道施設等	・4/19～ 一部運行再開 ・4/20～ 全線運行再開 (最高速度20km) ・5/1～ 速度規制解除	
九州産交バス	・バス5台破損	・営業所:4箇所	・4/17～ 一部運行再開 ・4/29～ 日祝ダイヤで運行 ・5/9～ 震災特別ダイヤで運行 ・6/1～ 震災特別ダイヤ増改正	
熊本電鉄 (バス)		・整備工場破損 ・倉庫一部破損 ・駐車場一部破損	・4/17～ 運行再開	
熊本バス	・バス1台破損	・営業所:1箇所 ・整備工場:1箇所 ・社宅:1箇所	・4/18～ 一部運行再開 ・5/9～ 運行再開	・道路状況により、一部 迂回運行中(5路線)
熊本都市バス		・営業所:3箇所	・4/17～ 一部運行再開 ・現在 全線通常運行	
タクシー協会	- タクシー ・5台大破 ・24台破損	・営業所:1箇所 ・車庫:10箇所	地震直後は利用人数が少なかった。	
熊本港		・臨港道路で液状化に よる沈下発生 ・車両乗降用可動橋の 変形 ・人道橋連結部・基礎 の破損	・4/22～ フェリー運行再開 ・4/23～ コンテナ船運行再開	・道路や施設について は応急復旧済み
熊本空港		・ターミナルビルの 天井崩落 ・設備関係の破損	・4/19～ 一部旅客便が運行再開 ・6/2～ 国内便全線運行再開 ・6/3～ 国際便高雄線運行再開	・ターミナルビルは応急 復旧済であるが、一部 閉鎖中 ・国際線のその他2路線 については現在運休

藤山仮設団地への路線バス運行について

